



2005年4月21日

各 位

会 社 名 株式会社 や ま や
代表者の役職名 代表取締役会長 山内 英 房
(コード番号 9994 東証第一部)
問い合わせ先 常務取締役経営企画室長 松本 庄 司
T E L (022)363-1324

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績等の動向を踏まえ、2004年11月12日の中間決算短信(連結)発表時に公表した2005年3月期(2004年4月1日~2005年3月31日)の業績予想(連結及び単体)を下記の通り修正いたします。

記

1. 通期の業績予想(連結)の修正について (2004年4月1日~2005年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	73,500	1,400	700
今回修正(B)	69,200	1,027	534
増減額(B-A)	4,300	373	166
増減率	5.8%	26.6%	23.7%
(ご参考) 前期実績(2004年3月期通期)	65,620	1,225	649

2. 通期の業績予想(単体)の修正について (2004年4月1日~2005年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	82,500	1,350	670
今回修正(B)	78,200	1,020	520
増減額(B-A)	4,300	330	150
増減率	5.2%	24.4%	22.3%
(ご参考) 前期実績(2004年3月期通期)	74,358	1,094	651

3. 修正の理由

- ・ 通期の業績予想値を修正した主な理由は以下の通りです。

食品スーパーなど他業態の新規酒販免許取得による酒類売り場の増加により、販売競争がますます激化したこと、自社輸入のワイン、ジュースの主力商品の一部に品薄状態が発生したこと、今年2月に実施した上場10周年記念セール効果が予想を下回ったことなどを主な原因として、2004年11月度から、来店客数が昨年対比で平均90%台半ばに落ち込み、好調だった2003年の年末商戦の反動にとどまらず、今期第4四半期中もその低迷が続いたしました。一方、お客様1人当りの買い上げ単価の平均値も前年度を上回れず、これらを総合した結果、店舗部門全体の売上高が、当初見込みを大幅に下回りました。

上記、自社輸入の主力商品の一部に品薄状態が発生したことに加え、輸入商品全体として新商品開発が遅れ気味になった結果、同部門の売上が低迷いたしました。

今期新規出店した15店舗の業績について、そのほとんどの店舗において認知度アップに時間がかかり、第4四半期になっても挽回が図れなかったため、これら新店の売上高、営業利益共に当初計画を大幅に下回る見込みとなりました。

- * 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上